

津田塾大学 数学・計算機科学研究所報

25

第14回

数学史シンポジウム

(2003)

2004

津田塾大学 数学・計算機科学研究所

まえがき

津田塾大学 数学・計算機科学研究所主催の「数学史シンポジウム」も回を重ね、第14回が2003年10月25日、26日の両日、津田塾大学5号館で開催された。この研究所報25号はその報告である。講演をし、原稿を書いて下さった方々に厚く御礼申し上げます。

2004年3月9日

津田塾大学 数学・計算機科学研究所

杉浦 光夫

笠原 乾吉

長岡 一昭

目次

ガウスの Theorema elegantissimum	西和田 公正	1
ガウスの数学日記について	高瀬 正仁	13
ガウスが行なった数値計算	杉本 敏夫	29
クラインとポアンカレの往復書簡について 保型関数論の源流	関口 次郎	49
数学者は嘘をついてはいけないのか キオスのヒポクラテスの「誤謬」をめぐって	斎藤 憲	76
数学の三相	三宅 克哉	84
19世紀代数学史の Histriography について	赤堀 庸子	95
有理関数の合成代数と虚数乗法	難波 完爾	103
Schur の学位論文および対称群の表現	平井 武	123
等質空間における軌道方法と調和解析	佐野 茂	132
久保田-Leopoldt による p 進 L 関数の構成	宮川 幸隆	144
確率場と経路積分の歴史	飛田 武幸	152
Innovation Theory の歴史	SiSi	161
符号の重み多項式にまつわる歴史	大浦 学	175
低次数の有限線型群II H. F. Blichfeld から R. D Brauer へ	筱田 健一	178
代数構造の変形理論とその周辺	久保 富士男	183
明治初期の技術者養成学校と数学教育の関わり 工学寮及び工学部大学校について	堀井 政信	195